

平成29年度学校運営計画書

学校名 和佐小学校

校長名 石原 利彦

作成日 平成29年 4月 3日

学校教育目標

心身ともに健康で、人間性豊かな実践力のある子どもを育てる

育てたい子ども像

和佐を愛し、
和佐を誇りに思う子

自他の生命・人権を大切にする
思いやりとやさしさのある子

正しい判断力をもち、めあて
をもってがんばりぬく子

地域とともにある学校

ゆたかな心

確かな学力

本年度の重点目標

1. 学校の情報提供
 - ・情報発信を積極的に行う。
 - ・信頼される学校づくりに取り組む。
2. 地域の教育力の活用
 - ・地域先達との協働・連携による学校教育力の充実事業実践校の指定を受け、地域とともにある学校づくりを推進する。
 - ・史跡など地域環境や人材を活用した学習活動を実施する。
3. 学校評価
 - 学校運営協議会（コミュニティースクール）を導入し、保護者や地域の方々とお互いの情報や課題を共有し、教育活動を進める。

1. 3つの視点を大切にした教育を推進する。
 - ① 健康ではつらつとした学校生活を送っていただろうか
 - ② 楽しい、温もりのあるふれあいをしていただろうか
 - ③ 安全で心配のない学校生活ができていただろうか
2. 生命や人権を大切にした心の教育に取り組む。
3. 生活指導の充実
 - ・保護者と連携し、基本的な生活習慣の定着や規範意識の育成を図る。
 - ・いじめなくそうデーへの取組

1. 確かな学力の定着
 - ・基礎的な知識技能の定着を図る。
 - ・学習習慣を身に付け、家庭学習の定着及び充実を図る。
2. 校内研修と実践の充実
 - ・児童が自ら課題をもち、探究的・問題解決的な学習に取り組めるような授業実践する。
 - ・よりわかる授業実践に取り組み、児童の学習意欲の向上と確かな学力を身に付けさせる。

目標達成に向けた具体的方策

- 学校便りや学年便りの内容の充実を図り、教育活動や児童の様子を保護者や地域に発信する。また、ホームページの充実を図る。
- 総合学習や社会科、クラブ活動等で地域先達との協働・連携を中心に学校と家庭、地域との連携を深める。
- 学校運営協議会（コミュニティースクール）での協議内容や学校評価アンケートの結果を受け止め、地域とともにある学校づくりを推進する。

- 毎月のいじめなくそうデーにアンケートを実施し、いじめのない学級づくりに関連した教材を使用して授業を行う。
- 体験活動や異学年交流を通し、人間関係やコミュニケーション力を養う。
- 挨拶・掃除・係活動等当たり前のことを教職員が先頭に立ち、その大切さを指導する。
- 生活振り返りアンケートを実施、活用し、基本的な生活習慣の定着を図る。『はや寝・はや起き・朝ごはん』等の啓発。

- 学習タイムや和佐タイムを効果的に活用する。
- 漢字の博士試験に全校で取り組む。
- 図書館をできるだけ多く開館し、読書活動を進める。
- 研究会や研修会に積極的に参加し、授業改善に努める。
- 各種調査の結果分析からの課題を踏まえ、学力向上を図る。
- 国語科における読解力の育成を目指し、校内授業研修会を実施し、様々な角度から授業分析を行い、教員の授業力・指導力の向上を図る。